

社会資本総合整備計画

平成29年8月31日

計画の名称	安全で快適な生活環境のまちづくり									
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	海津市							
計画の目標	下水道事業の推進に努め、排水対策を充実し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に努める。									
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率を68.8%(H21末) から72.3%(H27)に増加させる。 ②南濃中南部浄化センターの下水の処理能力を66.4%(H23) から100.0%(H24) に増加させる。 ③南濃中南部浄化センターの汚泥脱水機の設置率を50%(H23) から100%(H25) に増加させる。 ④処理場における長寿命化計画策定率を0%(H23) から40%(H26) に増加させる。 ⑤処理場における長寿命化計画対策実施率を0%(H27) から100%(H27) に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値	中間目標値	最終目標値				
					(H24末)	(H27末)				
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 海津市の総人口(人)				(H21末) 68.8%	71.5%	72.3%				
②南濃中南部浄化センターの1日あたりの下水の処理能力 下水の処理能力(m3/日) / 全体計画の下水の処理能力(m3/日)				(H23当初) 66.4%	100.0%	100.0%				
③南濃中南部浄化センターの汚泥脱水機の設置率 汚泥脱水機の設置数(台) / 全体計画の汚泥脱水機の設置数(台)				(H23当初) 50.0%	50.0%	100.0%				
④処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数(箇所) / 長寿命化計画を策定すべき処理場数(箇所)				(H23当初) 0.0%	0.0%	40.0%				
⑤処理場における長寿命化計画対策実施率 長寿命化計画対策実施着手済みの処理場数(箇所) / 長寿命化計画策定済みの処理場数(箇所)				(H27当初) 0.0%	0.0%	100.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,960百万円 2,105百万円	A	1,960百万円 2,105百万円	B	0百万円 0百万円	C	0百万円 0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0% 0.0%

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・海津処理区、及び中南部処理区の面整備を実施したことにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することができた。
- ・南濃中南部浄化センターにおける水処理施設の増設により処理能力が向上した。
- ・老朽化した下水道施設（管渠・処理場）における長寿命化計画策定により、計画的な改築更新事業を行うことが可能となった。

II 定量的指標の達成状況	指標	最終目標値	達成率	目標値と実績値に差が出た要因	備考
		最終実績値			
指標① 下水道処理人口普及率	最終目標値	73.0 %		目標値と実績値に差が出た要因	26,632人/35,716人 未普及地区の管渠整備促進により、供用開始区域の拡大につながったため。
	最終実績値	74.6 %			
指標② 南濃中南部浄化センターの1日あたりの下水の処理能力	最終目標値	100.0 %		目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値	100.0 %			
指標③ 南濃中南部浄化センターの汚泥脱水機の設置率	最終目標値	100.0 %		目標値と実績値に差が出た要因	流入水量の伸びが小さく、当面、既存施設能力で処理が可能である事から整備事業を休止したため。
	最終実績値	50.0 %			
指標④ 処理場における長寿命化計画策定率	最終目標値	40.0 %		目標値と実績値に差が出た要因	2施設（浄化センター）に関する長寿命化計画の策定を計画していたが、計画を超える3施設（南濃北部浄化センター・南濃中南部浄化センター・三郷浄化センター）の長寿命化計画を策定したことによる。
	最終実績値	60.0 %			
指標⑤ 処理場における長寿命化計画対策実施率	最終目標値	100.0 %		目標値と実績値に差が出た要因	3施設の計画策定に対し、2施設（南濃中南部浄化センター・三郷浄化センター）について事業着手し目標のとおり事業が進捗した。残る1施設（南濃北部浄化センター）については、同時実施している施設の耐震診断結果を考慮し、事業を進めることとしたため、本計画期間での事業着手は見送り、次期計画において事業着手することとしたことにより、目標を下回る結果となった。
	最終実績値	66.7 %			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・下水道未普対策事業については、次計画でも引き続き事業を推進するものの、より効率的に進められるよう地域からの整備要望が強く早期に接続が見込める等、効果の発現の期待できる地区より、整備を進める。
- ・施設の計画的な改築更新を進めていくための点検・調査を行い、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、計画的な改築更新を進めていく。